

角田市スポーツ推進計画
前期アクションプラン
(H26～H30)

～平成29年度版～

角田市教育委員会

＜目次＞

1	はじめに	
	(1) 角田市スポーツ推進計画について	P2
	(2) 前期・後期アクションプランの策定の趣旨	P3
	(3) PDCAサイクルについて	P3
2	計画の具体的な実施(D)について	
	(1) 3つの重点施策(3つの柱)	P4
	(2) 重点施策と各施策との関連と効果的な実施について	P4
	(3) 『3つの重点施策(3つの柱)』の具体的な取組みについて	P5
	(4) 後期アクションプランに向けた『3つの検討項目(3つの矢)』 について	P7
	(5) 「25個の施策」の具体的な取組みについて	P9
3	計画の進行管理(C)について	P15
4	計画の評価(C)・改善(A)について	P15

資料1 角田市スポーツ推進計画における「9つの数値目標」の進行管理表

資料2 角田市スポーツ推進計画「25個の施策」評価シート

角田市スポーツ推進審議会委員名簿

(平成29年6月策定時)

種別	氏名	職名
条例第3条 第2項第1号 (スポーツに関する 学識経験のある 者)	吉井 秀邦	仙台大学講師
	岩佐 義明	全日本車椅子バスケットボール総監督
	遠藤 良則	公益財団法人宮城県体育協会クラブ育成指導員
条例第3条 第2項第2号 (スポーツ関係団体 の代表者)	石黒 勝昌	NPO法人スポーツコミュニケーションかくだ副会長
	草間 進	角田市体育協会会長
	佐藤 好孝	角田市スポーツ少年団本部本部長
条例第3条 第2項第3号 (関係行政機関の職 員)	太田 文夫	角田市社会福祉協議会事務局長
	永井 哲	角田小学校長
	大内 啓邦	北角田中学校長
	額田 由美子	中島保育所長

1. はじめに

(1) 角田市スポーツ推進計画について

角田市スポーツ推進計画（H26～H35）は、「市民1人1スポーツ」を基本理念とし、角田市の現状・課題に対応するために3つの基本目標を掲げ、25個の施策ごとに具体的事業を展開し目標の実現を図ることとしております。

さらに、本計画の進捗状況管理の指標として、9つの数値目標を定めております。

□・・・前期アクションプランでの3つの重点施策（体制の整備）
□・・・後期アクションプランに向けた3つの検討項目

<計画の構成>

基本目標	現状・課題	9つの施策の方向	25個の施策	9つの数値目標
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	子どものライフスタイルの変化 角田市の小中学生の運動能力が全国平均を下回る	・学校と地域におけるスポーツの推進	1 児童生徒の健康な身体作り 2 学校体育の充実 3 社会スポーツ環境の充実	①週1回以上スポーツを行う人(20歳以上)の割合 28%⇒35% ②新体力テストにおける値が全国平均値以上の割合 2～3⇒5項目 ③総合型地域スポーツクラブの参加人数の割合 全体 400人⇒800人 みんなの教室 323人⇒500人 ④スポーツ少年団の団数の増加と団員の増員 430⇒470 団員 26⇒30 団
	働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少	・成人(働く世代)スポーツ活動の推進	4 スポーツ・レクリエーションへの参加促進 5 健康維持・体力向上・疾病予防のためのスポーツ推進 6 スポーツ活動の機会創出と交流の促進	
	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> スポーツによる健康増進効果への注目 </div> 高齢化時代へ突入、医療費等の増大	・高齢者のスポーツ活動の推進	7 高齢者団体の主催するスポーツ大会への参加促進 8 高齢者の健康・体力づくりの推進	
地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進	障害者のスポーツ参加支援の必要性が高まる	・障害者のスポーツ活動の推進	9 障害者スポーツ環境の充実 10スポーツ・レクリエーション大会への参加促進	⑤人々が交流する大会開催・誘致数の割合(全国・プロ) 3 ⇒ 5～6 試合 ⑥阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数の割合 2,300 ⇒ 2,500 人 ⑦市内大会以上の規模の大会の本市での開催数増加 130 ⇒ 135 試合
	地域コミュニティの希薄化	・市民参加型のスポーツイベント活動の推進	11市民参加型のイベントの推進 12総合型地域スポーツクラブの充実 <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">13スポーツ行政の改革</div>	
	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> スポーツによるコミュニティ機能、地域活性化機能への注目 </div> 急激な少子高齢化、東京一極集中による地方消滅の危機	・スポーツコミッション・スポーツツーリズムの推進	14観戦スポーツ・トップアスリートとの出会いの推進 15スポーツ交流の促進	
誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備	競技スポーツの支援体制の未整備	・競技スポーツの推進	16競技団体の支援 17指導者の育成 18学校部活動の推奨	⑧公共スポーツ施設の、年間延利用者数 210,000⇒270,000 人 ⑨阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(体育協会以外の者) 50人 ⇒ 70人
	ライフスタイル、個別のニーズの多様化施設の老朽化	・公共施設の有効活用との促進と情報提供の整備	19学校体育施設の開放事業の充実 20市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備 21施設の安全と利便性の向上 <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">22スポーツ情報環境の整備・充実</div>	
	指導者の高齢化	・スポーツ活動の支援体制の充実	<div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">23スポーツ指導員の増員と指導者の質的向上</div> 24スポーツボランティアの育成 25スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援	

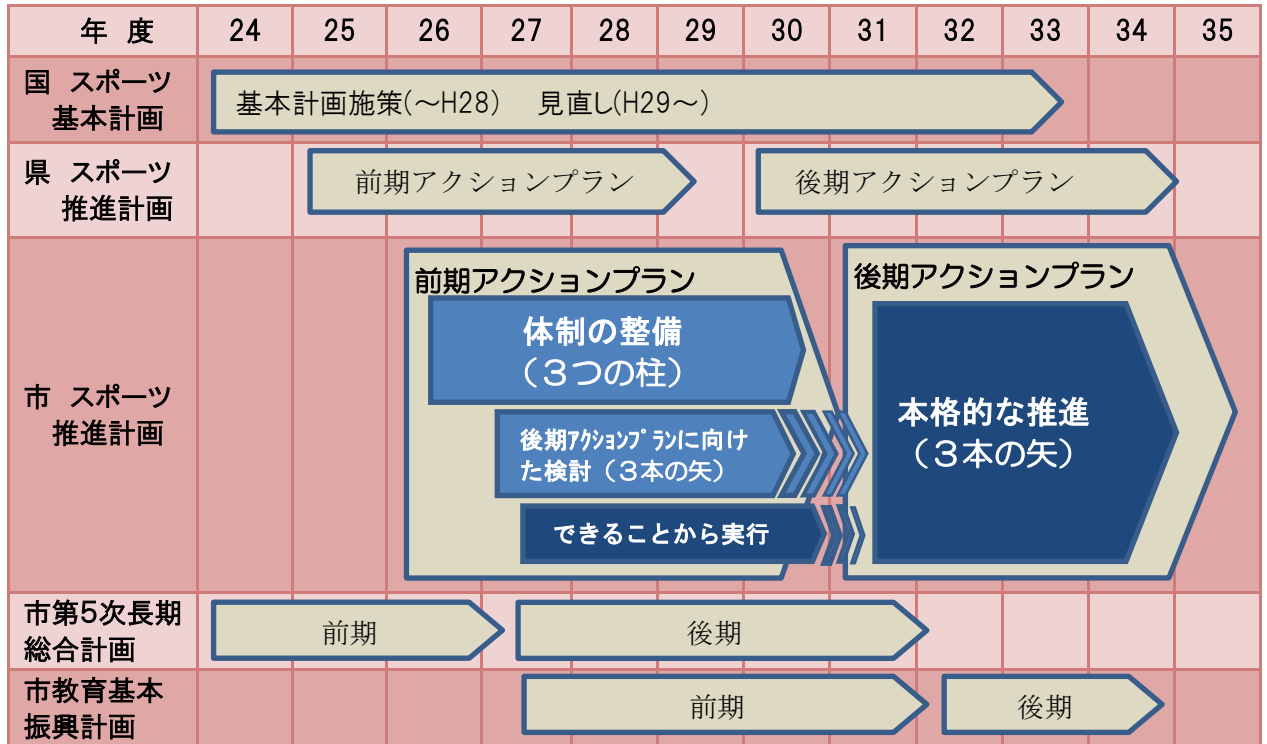
(2) 前期・後期アクションプランの策定の趣旨

本計画を推進するためには、優先度が高い取組みについて効果的かつ効率的に実施していくことが必要です。

そのため、計画期間の10年を5ヵ年ごとに区分します。「前期アクションプラン」では、計画を推進する『体制の整備』を重点施策と位置づけ取組み、「後期アクションプラン」において、計画の『本格的な推進』を図ります。

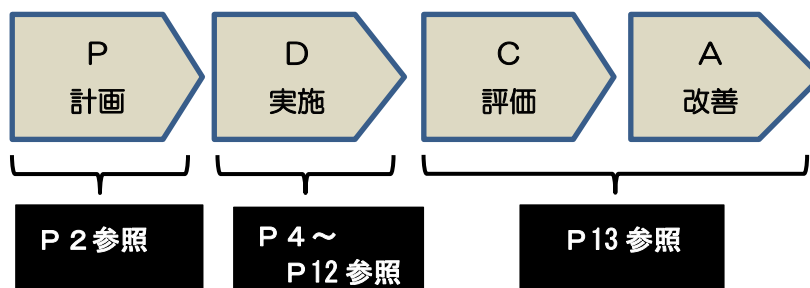
なお、アクションプランは、年度ごとに「〇〇年度改訂版」として更新していくこととします。

<前期・後期アクションプランのイメージ図>



(3) PDCAサイクルについて

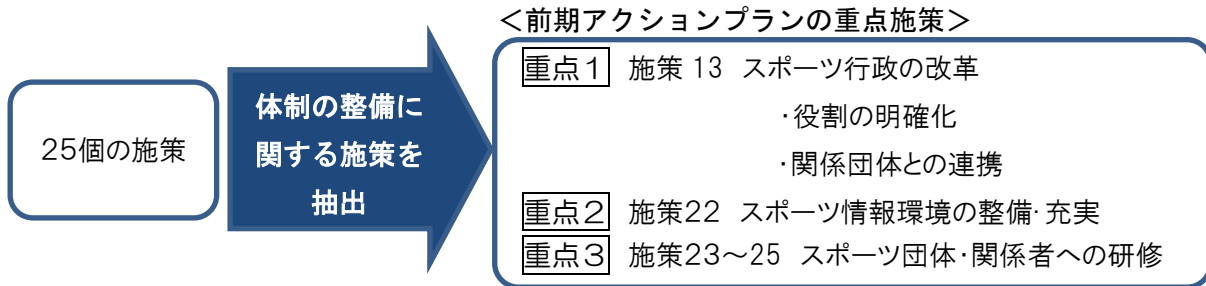
本計画の推進のためには、PDCA サイクルにより適切な進行管理を行う必要があります。そこで、本計画の『25個の施策』ごとに、次のとおりPDCAサイクルで進行管理を行うこととします。



2 計画の具体的な実施(D)について

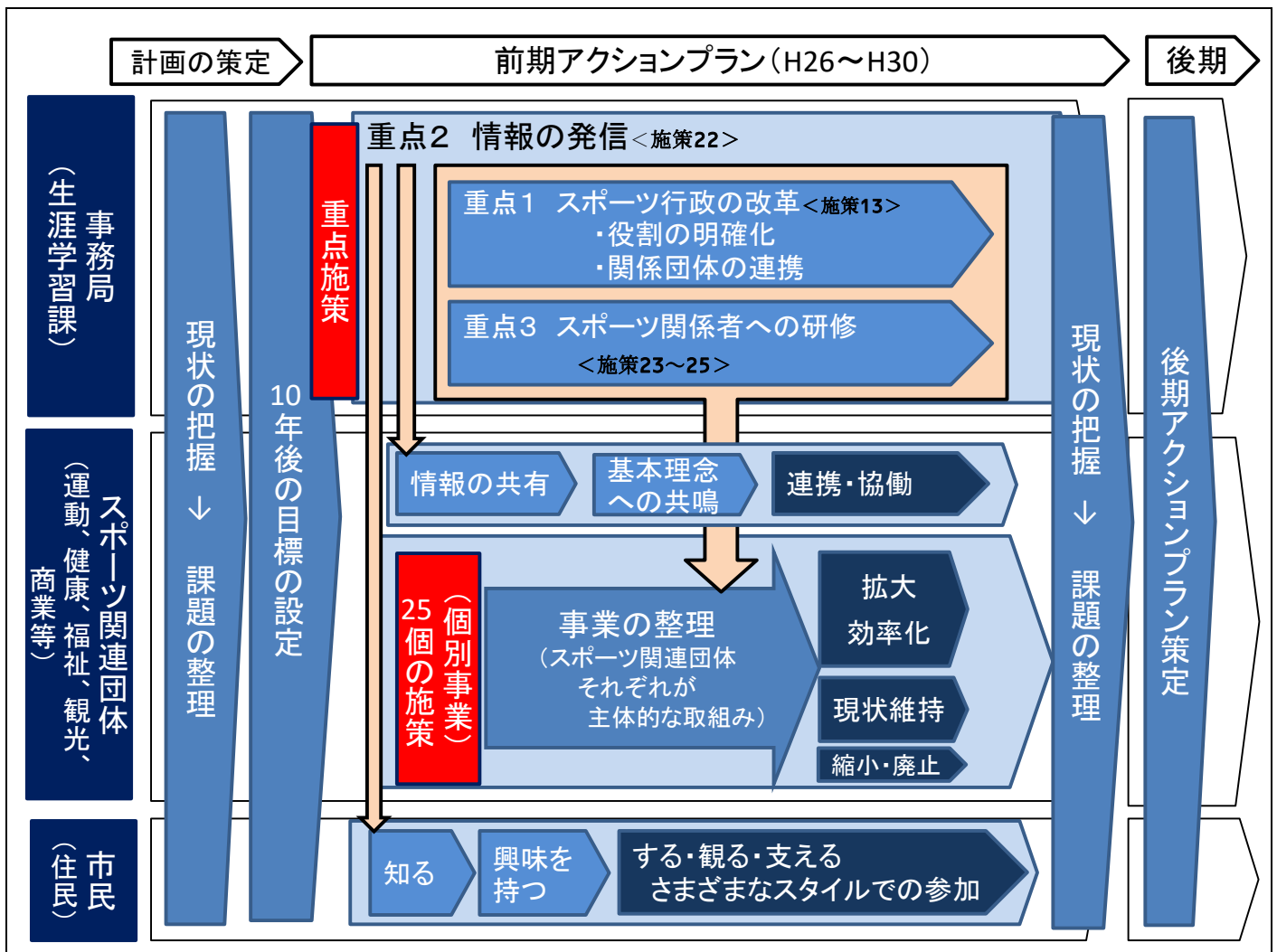
(1) 3つの重点施策（3つの柱）

前期アクションプランでは、計画を効果的で、効率的に実施していくために25の施策のうち、計画を推進するための体制の整備に関する施策を重点施策とし、集中的に取り組みます。



(2) 重点施策と各施策との関連と効果的な実施について

重点施策を、事務局である生涯学習課を中心に実施します。それにより、スポーツ関連団体へ本計画・基本理念の浸透をはかり、各事業の整理を主体的に行う風土を醸成し、本計画を実施していく体制を整備していきます。



(3) 『3つの重点施策（3つの柱）』の具体的な取組みについて

次の事業を新たに実施、既存事業を拡充することで重点施策を集中的に取り組みます。

重点1 施策1.3 スポーツ行政の改革（役割の明確化・関係団体との連携）

事業名	事業概要	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	担当部門
民間活力の積極導入 (業務委託、指定管理者制度等)	<p>教育委員会からスポーツ事業を角田市地域振興公社(以下「公社」という)へ移管し、人事異動にとられない長期的な取組みと、教育行政の枠組みを越えた取組みによりスポーツ事業のさらなる充実を図る</p> <p>また、民間活力についてメリットが生じるよう業務委託の可能性について検証する</p> <p>■H26 移管。市職員を体育館に継続配置し引継ぎ</p> <p>■H27～ 市職員引上げ。連絡調整会議を随時開催</p> <p>■H29 リバーサイドマラソン事務の一部を民間へ委託</p> <p>■H29 指定管理の更新(次期間 H30～33)となることから指定管理業務を再検討</p>	開始	→	→	再検討	反映	生涯学習課 公社
スポーツ交流館へ名称・目的変更	<p>農業環境改善センターから名称・利用目的を変更し、スポーツ交流館を設置。総合体育館、中央公園と一体的運営を行うことでスポーツ活動を支援</p> <p>■H26 名称・目的の変更</p> <p>■H29 スポーツ合宿機能強化のための改修工事</p> <p>■H29 指定管理の更新(次期間 H30～33)となることから指定管理業務を再検討</p>	開始	→	→	再検討	反映	生涯学習課 農政課 公社
スポーツ推進委員の活動機会の拡充	<p>スポーツ推進委員の新たな役割「連絡調整」機能を高め、スポーツ推進委員によるスポーツ関係団体間の連携を図るため、スポーツ推進委員の活動機会(特に健康分野)を拡充</p> <p>■H28 活動を年10回/人 → 年12回/人へ</p> <p>■H29 活動を年12回/人 → 年13回/人へ</p>	→	→	拡充	→	→	生涯学習課 スポーツ推進委員
財政基盤の強化	<p>事業の点検・見直しにより歳出全般の効率化を図り、施設使用料等については受益者負担の適正化を図る。</p> <p>さらに、日本スポーツ振興センター(toto)の助成事業のほか、社会体育関係以外の助成事業の活用を検討する。</p> <p>■H28 ①toto助成金：陸上競技場改修工事 ②社会資本整備総合交付金：交通公園遊具</p> <p>■H29 ①toto助成金： テニスコート人工芝6面改修(30,000千円) 移動式バスケットゴール1対(6,000千円) リバーサイドマラソン負担金(4,000千円) ②社会資本整備総合交付金 交通公園遊具等各種 ③地方創生推進交付金 スポーツ交流館合宿機能強化の改修工事 ④使用料改定(陸上競技場)</p>			開始	拡充	→	生涯学習課 土木課 政策企画課 公社

重点2 施策22 スポーツ情報環境の整備

事業名	事業概要	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	担当部門
スポコム発行のスポーツ情報誌の再開	スポコム発行の「スポーツプレスかくだ」は角田市のスポーツ情報発信に大変有効な手段であることから、編集におけるスポーツ関係団体の協力体制を整備し定期的に発行 ■H28～ 市内全戸配付、丸森町は小中学校配付で計 16000部を年7回発行			開始	→	→	スポコム 生涯学習課 公社 体協 スポ少
スポコムホームページでの情報の発信	スポコムのホームページにおいて市内のスポーツ情報を併せて掲載し一元的に発信する ■H29～ スポコムホームページのリニューアル				開始	→	スポコム 生涯学習課 公社 体協 スポ少
行政区長を通しての文書配達の積極的活用	スポーツ団体の募集要項等を行政区長を通じた文書配達により周知 ■H28～ スポーツプレスかくだ や 屋内温水プールの募集チラシ等を全戸配付			開始	→	→	総務課 生涯学習課 指定管理者 (公社、セントラル)

重点3 施策23～25 スポーツ団体・関係者への研修（スポーツ活動の支援）

事業名	事業概要	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	担当部門
スポーツ関係団体への研修会の開催	スポーツ関係団体を対象に、新しいスポーツ文化についての研修会を開催することで、スポーツ推進計画を推進するための風土を醸成 ■H27 社会教育推進大会を社会体育分野で開催 ■H28 スポーツ栄養学に基づく食育講演会を開催 ■H28～ 市体協表彰式と合同でスポーツ講演会を開催			実施	→	→	生涯学習課 公社 体協 スポ少 スポコム スポーツ推進委員
スポーツ振興助成金の交付	体育協会、スポーツ少年団本部、地域振興公社、スポコムへ、市のスポーツ振興を図るために、助成金を交付する。■H26 公社への補助金増額 ■H28 スポコムへの補助金新設	拡充	→	拡充	→	→	生涯学習課 スポコム
スポーツ交流館でのスポーツ団体支援	スポーツ交流館において、スポーツ団体等の活動支援を行う ■H27～ 倉庫をスポコムの活動用具保管場所として活用		試行・検討	試行・検討	試行・検討	実施	生涯学習課 公社 体協 スポ少 スポコム
スポコムの中高校生ボランティア事業支援	スポコムが行う中学3年生・高校3年生を対象としスポーツボランティア募集は、卒業・進学後の競技継続や指導者育成につながる効果的な事業であることから、中長期視点で教育委員会をはじめとする関係機関で支援を行う ■H28～ 中学生ボランティア3名			実施	→	→	スポコム 角田丸森の中・高校 生涯学習課

(4) 後期アクションプランに向けた『3つの検討項目(3本の矢)』について

「本格的な事業の推進」と位置づけている後期アクションプラン(H31~H35)に向け、前期アクションプランでは、次の3つの項目を計画的に検討していきます。

項目	施策の方向性	概要	具体的な方向性	H26	H27	H28	H29	H30	H31	担当部門
検討1	施策1~3 学校と地域における子どものスポーツ活動の推進	学校・地域における子どものスポーツ活動を分析、課題を整理し、今後のあり方を検討	【課題】 ライフスタイルの変化により運動する機会の減少(運動習慣の2極化) 【事業概要】 H29 課題の整理 H30 今後のあり方を検討 H31 実施			準備	検討			教育総務課 市内小中学校 生涯学習課
	検討2	施策4~6 成人(働く世代)のスポーツ充実	成人スポーツの現状を分析、課題を整理し、今後のあり方を検討	【課題】 成人のスポーツを行う機会の減少(特に男性) 【事業概要】 H28 今後のあり方を検討 H29 健康ポイント事業をスポーツ分野へ拡大 さらに、地元企業との連携や、親子をターゲットとした事業を検討		準備	検討	検討(できることから実行)	後期アクションプランで本格推進 検討(できることから実行)	健康推進課 地区振興協会 自治センター 生涯学習課
検討3	施策11~13 市民参加型のイベントスポーツ活動の推進	新たなプラットフォームについて検討	【概要】 角田中央公園一帯のスポーツ施設と道の駅の連携により、市民のスポーツ振興はもとより、スポーツツーリズムの推進により地域おこしを行う 【事業概要】 H28 ChallengeMillon2016 においてスポーツ専門部会を7回開催。スポーツと道の駅の連携について調査・分析報告書をまとめる H29・H30 調査・分析に基づき次を整備。さらにソフト事業の推進体制を検討 ＜H29＞ ・スポーツ交流館の合宿機能強化 ・中央公園にウォーキングコースを検討 ＜H30＞ ・中央公園にウォーキングコースを整備 ・中央公園等に愛称を設定しPR ・イベントや合宿の誘致 ・角田産食材をつかった健康食の開発				検討			
		施策14~15 スポーツコミッション・スポーツツーリズムの推進	角田市の資源を生かしたスポーツコミッション・スポーツツーリズムについて検討							

（５）『２５個の施策』の具体的な取組みについて

３つの基本目標・施策別に、市の取組みの詳細を整理します。

なお、市で実施している事業のほか、市と幅広く連携を図っている団体が実施している事業についても掲載しております。

基本目標 1

ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

数値目標

基本目標 1 における数値目標値は、次のとおりです。

No.	項目		当初	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30中間目標	H35目標値
1	週1回以上スポーツを行う人(20歳以上)の割合		28%	⇒	⇒	⇒	⇒	31	35
	内訳	20～50代(働く世代)	ほぼ毎日	5%	H30にアンケートの実施				
			週1回以上	23%					
		60代～(高齢者)	ほぼ毎日	15%					
	週1回以上	30%							
2	新体カテストにおける値が全国平均値以上である項目の数		11項目中 2～3	10項目中 2～8	10項目中 3～6	10項目中 1～6	⇒	10項目中 4	10項目中 5
	参考	平均値以上の個数 体力総合点 (角田市平均点 /全国平均点)	市内小5男	3 52/54	6 54/54	4 53/54	5 54/54		
			市内小5女	2 52/55	8 56/55	6 55/55	6 55/56		
			市内中2男	2 36/42	3 40/42	6 41/42	4 41/42		
			市内中2女	3 42/49	2 47/49	3 47/49	1 44/50		
3	総合型地域スポーツクラブの会員数		400人 みんなの教室 322	462人 みんなの教室 348	397人 みんなの教室 298	400人 みんなの教室 325	⇒	600人 みんなの教室 410	800人 みんなの教室 500
4	スポーツ少年団の団数と団員数		団員 430 団数 26	団員 450 団数 25	団員 417 団数 23	団員 402 団数 24	⇒	団員 450 団数 28	団員 470 団数 30

施策の方向ごとの個別事業

(1) 学校と地域におけるスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 子どものライフスタイルの変化により運動する機会の減少(運動習慣の二極化) 角田市の小中学生の運動能力が全国平均を下回る
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
				○	→	→	→	→	
施策1 未就学児から児童生徒の健康な身体づくりと体力・運動能力向上の推進	スポーツフェスティバル	体育の日に、子どもから大人までスポーツを楽しむイベントを開催(体力測定も実施)	○	→	→	→	→	→	体育協会・スポコム・公社
	こどもリレーカーニバル	5月末に角田・丸森の小中学生を対象とした陸上競技大会を開催		→	→	→	→	→	生涯学習課・公社・陸協
	みんなのスポーツ教室	スポコムと連携し、小中学生を対象とした各種スポーツの教室を年間開催【H29 タグラグビー教室追加】	○	→	→	拡充	拡充	→	生涯学習課・スポコム・公社
	サッカー巡回指導	保育所、児童館、幼稚園で、県サッカー協会の宮城キッズプログラムを活用してサッカー教室を開催		→	→	→	→	→	市の保育所、児童館、幼稚園
	チャレンジカードによる運動体験	保育所の遊具を使って動き(レベル1～3)にチャレンジ。達成したらシール、表彰を行い、子供を称える			新	→	→	→	市の保育所
	親子体操教室	未就学児を対象に、スポーツ交流館で親子体操教室を開催(20組限定、5月～10月に11回)				新	→	→	スポーツ交流館 公社・スポコム
施策2 学校体育の充実	(小学校)業間休み時間の活用	校内持久走大会の練習など、業間休み時間、授業体育を有効活用		→	→	→	→	→	小学校
	(中・高校)運動部外部指導者派遣	中学校・高校で、運動部の外部指導者派遣事業を活用		→	→	→	→	→	中学校・高校
施策3 社会スポーツ環境の充実(子ども関係)	スポーツ少年団の事務局支援	公社が、スポーツ少年団本部の事務局を支援	○	→	→	→	→	→	公社・スポーツ少年団
	スポコムかくたの事務局支援	公社が、スポコムかくたの事務局を支援	○	→	→	→	→	→	公社・スポコム かくた
	スポーツ体験広場	スポーツ交流館を、夏休みの一定期間無料開放し、子供が気軽にスポーツを楽しむイベントを開催			新	拡充	→	→	スポーツ交流館・公社
	トップアスリート派遣事業の活用	トップアスリートによる子どもたちのスポーツ教室を開催		→	→	→	→	→	体育協会・公社・生涯学習課
(検討1) 後期アクションプランに向けた検討	学校における子供のスポーツ活動の現状を分析し、課題を整理し、今後のあり方を検討					準備	検討	→	学校 教育総務課 生涯学習課

(2) 成人（働く世代）のスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 働く世代のスポーツを行う機会、時間の減少 スポーツによる健康増進効果への注目が集まる
----	---

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策4 スポーツレクリエーション祭への参加の促進	スポーツ・レクリエーション祭	7月にソフトボール、ビニールボール、グランドゴルフ、ペタンクの大会を開催		→	→	→	→	→	公社・生涯学習課
	地区民球技大会・運動会	各自治センターで、地区民球技大会や運動会を開催	○	→	→	→	→	→	各自治センター
	市P連バレー	角田市父母教師会連合会が、ビニールボール大会を開催		→	→	→	→	→	市父母教師会連合会
施策5 健康・体力維持向上・疾病予防のためのスポーツ・運動の推進	角田市健康ポイント事業	健康づくり事業の参加者(20歳以上)に健康ポイントを付与【H29対象を健(検)診、スポーツの健康分野へも拡大】	○	拡充	拡充	→	拡充	→	健康推進課
	ウォーキング事業	自治センター、地区振興協議会、健康推進課等が、ウォーキング事業を実施		→	拡充	→	→	→	自治センター地区振・健推
	運動のつどい	運動普及推進員が、ウエルパークで健康運動を月1回実施		→	→	→	→	→	健康推進健
	各団体の健康づくり事業	自治センター、地区振興協議会等が健康づくり運動教室を開催		→	拡充	→	→	→	自治センター地区振
	推進サークルの活動	健康プラン推進サークルが、健康運動を実施【H27～健康プラン推進サークルの登録制度開始】			新規	→	→	→	推進サークル
	活動量計を活用したスマート事業	活動量計及び体成分測定を活用した健康づくり事業を実施					新規	→	健康推進課
施策6 スポーツ活動の機会の創出と交流の促進	各種スポーツ教室の開催	スポーツ教室等を開催(公社:ゴルフ、テニス、リフレッシュ体操等)(スポコムかくだ:成人スポーツ教室)		拡充	→	→	→	→	公社・スポコム
	角田市スポーツ大会の開催	体育協会加盟団体が、各種目の角田市スポーツ大会を夏から秋にかけて開催		→	→	→	→	→	体協加盟団体生涯学習課
	青年講座、青年交流事業の開催	生涯学習課が、青年講座、青年交流講座の1メニューとしてスポーツ講座を開催		→	→	→	→	→	生涯学習課
(検討2) 後期アクションプランに向けた検討		成人スポーツ、健康づくり事業の現状を分析し、課題を整理し、今後の有り方を検討 →施策5で一部実施(健康ポイントの運動への拡充)			準備	検討	一部実施	→	健康推進課 自治センター 生涯学習課

(3) 高齢者のスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 超高齢化時代の突入、医療費等の増大 スポーツによる健康増進、健康寿命の延伸効果への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策7 高齢者団体の主催する講習会やイベント及びスポーツ大会への参加促進	老人スポーツ大会、市老連ゲートボール大会、シニアスポーツ大会	主催者である角田市老人クラブ連合会(事務局:市社協)へ補助金を交付し、大会事務局を支援		→	→	→	→	→	社会福祉課・社協
	いきいき百歳体操スタート応援事業	いきいき百歳体操の自主的な活動を継続する団体むけに体力測定の実施や体操指導(1ヶ月間)を行います。				新規	→	→	社会福祉課
	ゲートボールコート等整備助成事業	老人クラブ等のゲートボール場やグランドゴルフのコートを整備する際に、その費用の一部を助成(1件15千円上限)		→	→	→	→	→	社協

(4) 障害者のスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 障害者のスポーツの多様な役割を鑑み、その必要性が一層増している。
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策9 障害者のスポーツ環境の充実	スポーツ施設の整備	各施設や設備において、バリアフリーを考慮した改修や整備に努める【H26 スポーツ交流館にサウンドテーブルテニス用具を設置】	○	拡充	→	→	→	→	土木課・生涯学習課・公社
施策10 スポーツ大会・レクリエーションへの参加促進	身体障害者体育大会	主催者である角田市身体障害者福祉協会(事務局:市社協)へ補助金を交付し、大会事務局を支援【H26参加者(参考)】会員43名、虹の園38名		→	→	→	→	→	社会福祉課・社協

基本目標 2

地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進

数値目標

基本目標 2 における数値目標値は、次のとおりです。

No.	項目	当初	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30 中間目標	H35 目標値
5	人々が交流する大会開催・誘致の数 (全国・プロ)	3 試合	4	2	2	⇒	4	5~6
	内訳	ねんりんピック (3日間)	なでしこL 2 JFL 2試合	なでしこL 1 JFL 1試合	なでしこL 1 JFL 1試合			
6	阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数	2300 人	2,631	2,720	2,935	⇒	2,400	2,500
7	市内大会規模以上の大会の開催数	130 試合	110	120	131	⇒	132	135

施策の方向ごとの個別事業

(1) 市民参加型のイベントスポーツ活動の推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの希薄化 ・スポーツによるコミュニティ活性化機能（地域社会醸成機能）への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策11 市民参加のイベントの推進	地区民球技大会・運動会	各自治センターで、地区民球技大会や運動会を開催	○	→	→	→	→	→	各自治センター
	行政区での健康づくり行事	行政区で、健康づくり行事を開催		→	→	→	→	→	各行政区
	阿武隈リバーサイドマラソン大会	11月に角田市陸上競技場発着で、阿武隈川沿いをコースとしたマラソン大会を実施	○	→	→	→	→	→	体育協会・公社・市・教委
	ゴルフ・パークゴルフ大会	ゴルフ・パークゴルフの愛好者や初心者を対象とした各種大会を開催		→	→	→	→	→	公社
	スポーツフェスティバル	7月にソフトボール、ビニールボール、グランドゴルフ、ペタンクの大会を開催（一部みやぎヘルシーの予選）	○	→	→	→	→	→	体育協会
	ウォーキング事業	自治センター、地区振興協議会等が、ウォーキング事業を開催	○	→	拡充	→	→	→	自治センター 地区振
施策12 総合型地域スポーツクラブの充実	総合型地域スポーツクラブの支援	スポコム事務局を支援 平成26年度までで toto 助成が終了となり事業を一部縮小していることから市からの事業費補助を開始（H28～）		→	→	拡充	→	→	公社・生涯学習課
	連携によるクラブの充実	みんなのスポーツ教室、スポーツ情報誌の発行など、生涯学習課、公社と連携することで、双方の充実を図る		→	→	拡充	→	→	生涯学習課・公社・スポコム
施策13 スポーツ行政の改革 【重点施策】	公社スポーツ事業の移管	市教委のスポーツ事業を公社へ移管し、人事異動にとられない長期的な取組みと、教育行政の枠組みを越えた取組によりスポーツ事業のさらなる充実を図る 【H26 移管】 【H29 指定管理の更新（次期間 H30～33）となることから指定管理業務を再検討】	新規重点		→	→	再検討	反映	生涯学習課 政策企画課
	スポーツ交流館へ名称・目的変更	農業環境改善センターから名称・利用目的を変更し、スポーツ交流館を設置。スポーツ活動を支援 【H26 名称・目的の変更】 【H29 指定管理の更新（次期間 H30～33）となることから指定管理業務を再検討】	実施		→	→	再検討	反映	生涯学習課 農政課 公社
	スポーツ推進委員の活動機会の拡充	スポーツ推進委員の活動機会（特に健康分野）を拡充。連絡調整機能を高める風土も醸成する。 【H28 活動を年10回/人 → 年12回/人へ】 【H29 活動を年12回/人 → 年13回/人へ】		→	→	拡充	拡充	→	生涯学習課 スポーツ推進委員
	スポーツ関係部署、団体の連携の体制整備	スポーツの持つ多様な力を発揮するため、健康・福祉・観光・商業等の市役所担当部署、関係団体が、役割を明確化し、連携を深めるための体制を整備		→	→	→	拡充	→	すべてのスポーツ関係団体
	財政基盤の強化	事業の点検・見直しにより歳出全般の効率化を図り、施設使用料等は受験者負担の適正化を図る。さらに、助成金を活用する。【H28～ toto 助成金等活用】		→	→	拡充	拡充	→	生涯学習課 指定管理者
(検討3) 後期アクションプランに向けた検討	新たなプラットフォーム（スポーツ活動とスポーツ以外の活動を同じ空間で行うことで相乗効果のある取組み）について検討 【H28～ ChallengeMillion スポーツ専門部会で検討】					検討	→	土木課 道の駅整備室 商工観光課 生涯学習課	

(2) スポーツコミッション・スポーツツーリズムの推進

現状	<ul style="list-style-type: none"> 急激な少子高齢化、東京一極集中による地方消滅の危機が予想される スポーツによる地域活性化機能（観光、地域経済）への注目が集まる
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策14 観戦スポーツ及びトップアスリートとの出会いの推進	ベガルタ仙台レディースの支援	角田市でホームゲームを開催するベガルタ仙台レディースを支援する。		→	→	→	→	→	ベガルタ仙台協議会・政策企画課
	トップアスリート派遣事業の活用	トップアスリートによる子どもたちのスポーツ交流教室を開催		→	→	→	→	→	体協・公社・生涯学習課
施策15 スポーツ交流の促進	相馬市・角田市親善柔道大会	昭和33年角田市市制施行を契機に発足した相馬市・角田市の親善柔道大会を継続	○	→	→	→	→	→	体協・生涯学習課
	阿武隈リバーサイドマラソン大会	11月に角田市陸上競技場発着で、阿武隈川沿いをコースとしたマラソン大会を実施	○	→	→	→	→	→	体協・公社・市・教委
	スポーツ施設の整備	施設や設備を、老朽化対策、バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める	○	→	→	→	→	→	土木課・生涯学習課・公社
	合宿所・研修所の整備	農村環境改善センターをスポーツ交流館へ目的・名称を変更 【H29 スポーツ合宿機能強化のための改修工事】	○	拡充	→	→	拡充	→	生涯学習課・公社
(検討3) 後期アクションプランに向けた検討		角田市の資源を生かしたスポーツコミッション・スポーツツーリズムについて検討 【H28～ ChallengeMillion スポーツ専門部会で検討】				検討	→	→	

(3) 競技スポーツの支援

現状	・競技スポーツ支援が体系的に整備されているとはいえない。
----	------------------------------

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門
施策16 競技力向上を図る競技団体の支援	スポーツ振興助成金の交付	全国大会、国際大会に出場した選手に助成金を交付（中体連、スポ少の試合のみ東北大会も該当）	○	→	→	→	→	→	生涯学習課
	角田市スポーツ大会の開催	各種目の角田市スポーツ大会を夏から秋にかけて開催		→	→	→	→	→	体育協会加盟団体 生涯学習課
施策17 指導者の育成	スポーツ振興助成金の交付	スポーツ指導者養成の研修会にかかる経費の1/2を助成	○	→	→	→	→	→	生涯学習課
施策18 学校部活動の推奨と練習会や合宿の奨励	合宿所・研修所の整備	農村環境改善センターをスポーツ交流館へ目的・名称の変更 【H29 スポーツ合宿機能強化のための改修工事】	○	拡充	→	→	拡充	→	生涯学習課・公社
	運動部外部指導者派遣事業	中学校・高校の運動部活動において教員の技術指導の補完を行うため、地域に在住するスポーツ指導者やスポーツ経験者等を「運動部活動外部指導者」として派遣		→	→	→	→	→	教育総務課

基本目標 3

誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備

数値目標

基本目標 3 における数値目標値は、次のとおりです。

No.	項目	当初	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30中間目標	H35目標値
8	公共スポーツ施設の年間延べ利用者数(学校施設を含まない)	210,000 人	233,147	235,471	233,865	⇒	235,000	270,000
	総合体育館	62,386	65,517	65,842	69,108			
	陸上競技場	36,078	38,083	34,178	16,874			
	屋内温水プール	57,616	70,691	76,167	82,053			
	テニスコート	15,178	17,923	18,330	20,990			
	野球場	13,202	10,598	10,805	9,116			
	ゲートボール場	282	387	392	269			
	芝生広場	10,984	3,289	8,562	11,482			
多目的運動場	13,812	12,272	11,238	11,950				
スポーツ交流館	(12,931)	14,387	9,957	12,023				
9	阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(体育協会以外の者)	50 人	66	65	120 (68)	⇒	60	70

施策の方向ごとの個別事業

(1) 施設の有効活用の促進と情報提供の整備

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のライフスタイル、ニーズの多様化 ・施設の老朽化
----	--

施策	事業名	事業概要	再掲	H26	H27	H28	H29	H30	担当部門	
施策19 学校体育施設の開放事業の充実	学校体育施設開放事業	学校の施設を学校教育に支障のない範囲で、児童、生徒、一般市民の利用に開放する		→	→	→	→	→	教育総務課 生涯学習課	
施策20 市民のニーズに応じたスポーツ施設の整備	市民ニーズに応じたスポーツ施設の整備	市民ニーズに応じたスポーツ施設の整備を行う。 【H29 中央公園内にウォーキングコースの設計】 【H30 " " を整備】					新規	→	土木課・生涯学習課・公社	
	合宿所・研修所の整備	農村環境改善センターをスポーツ交流館へ目的・名称を変更(H26) 【H29 スポーツ合宿機能強化のための改修工事】	○	拡充	→	→	拡充	→	生涯学習課・公社	
	ゲートボールコート等整備助成事業	老人クラブ等のゲートボール場やグラウンドゴルフのコートを整備する際に、その費用の一部を助成(1件15千円上限)		→	→	→	→	→	社協	
施策21 施設の安全性と利便性の向上	スポーツ施設の計画的な維持管理	施設や設備を、老朽化対策、バリアフリーなど安全性を考慮し改修や整備に努める 【H27 中央公園の長寿命化計画策定】 【H28 toto 助成活用開始】 【H29 総合体育館、スポーツ交流館の長寿命化計画を検討】	○	→	拡充	拡充	拡充	→	土木課・生涯学習課・公社	
【重点施策】 施策22 スポーツ情報環境の整備・充実	情報発信の充実	生涯学習課からスポーツ関連団体へ情報発信を充実させる。とくにスポーツ推進計画関連についての情報発信を継続し、その理念の浸透を図る。	実施	→	→	→	→	→	生涯学習課	
	スポコムでのスポーツ情報誌での情報発信	スポコム発行の「スポーツプレスかくだ」の編集におけるスポーツ関係団体の協力体制を整備し、市から事業費の一部を補助することで定期的に発行	実施	休止	再開	→	→	→	スポコム 生涯学習課 公社 体協 スポ少	
	スポコムホームページでの情報の発信	スポコムのホームページにおいて市内のスポーツ情報を併せて掲載し一元的に発信する。 【H29～ スポコムホームページのリニューアル】					新規	→	→	
	行政区長の文書配達の積極的活用	市民へのスポーツ情報の発信を強化するため、「スポーツプレスかくだ」や「スポーツ施設の指定管理者の周知文書」を文書配達により周知					新規	→	→	総務課 生涯学習課 指定管理者
	スポーツ交流館事業	スポーツ情報コーナーを充実させ情報を発信するとともにスポーツに関する相談業務を行う。さらに、スポーツ施設の利用調整等も行う。		新規	→	→	→	→	→	公社

(2) スポーツ活動の支援体制の充実

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者等の高齢化 ・スポーツに期待される機能・役割の拡大に伴う知識、人材の不足
----	---

施策	事業名	事業概要	再掲	H	H	H	H	H	担当部門
				26	27	28	29	30	
施策23 スポーツ指導者の増員と質的向上 【重点施策】	スポーツ推進委員の研修参加	スポーツ推進委員が、県・大河原管内スポーツ推進委員協議会等の主催する研修会へ積極的に参加【H26～ 14名(定員15)】		→	→	→	→	→	生涯学習課
	運動普及推進員育成事業	健康づくりとなる運動指導についてのミーティングを開催【H28 14名、H29 12名】		→	拡充	→	→	→	健康推進課
	ウォーキング推進員育成事業	安全かつ効果的なウォーキングについてのミーティングを開催【H28 7名、H29 6名】		新規	→	→	→	→	健康推進課
	にこにこ健康プラン推進サークル会員育成事業	同サークル会員の育成を図るため、研修会を開催【H28 13団体(337名)、H29 15団体(344名)】			新規	→	→	→	健康推進課
施策24 スポーツボランティアの育成 【重点施策】	阿武隈リバーサイドマラソン大会	阿武隈リバーサイドマラソンの運営を通して、スポーツボランティア文化の育成を図る	○	→	→	→	→	→	体育協会・公社・市・生涯学習課
施策25 スポーツ団体・健康推進団体の育成及び支援 【重点施策】	体協、スポ少本部、スポコム事務局支援	事務局支援を行うことによって、各団体の育成を図る		→	→	→	→	→	公社
	スポーツ振興助成金の交付	体育協会、スポーツ少年団本部、地域振興公社、スポコムへ、市のスポーツ振興を図るために、助成金を交付する。【H26 公社増額、H28 スポコム新設】	○	→	→	拡充	→	→	生涯学習課
	スポーツ交流館でのスポーツ団体支援	スポーツ交流館において、スポーツ団体等の活動支援を行う		試行・検討	→	→	→	実施	生涯学習課 公社
	転倒骨折予防サークル支援事業	転倒骨折予防サークル間での交流、情報交換、新たな技術習得するため、研修会を年数回開催【H14 開始、H29 で 8 団体】		→	→	→	→	→	社会福祉課
	スポーツ関連団体への研修	スポーツに期待される新しい役割・機能(新しいスポーツ文化)について関連団体を対象とした研修を開催【H28～ 市体育協会表彰式と合同で開催】			検討	新規	→	→	生涯学習課 体育協会・スポ少・公社
	スポコムの中高校生ボランティア事業支援	スポコムが行う中学3年生・高校3年生を対象としスポーツボランティア募集は、卒業・進学後の競技継続や指導者育成につながる効果的な事業であることから、中長期視点で教育委員会をはじめとする関係機関で支援を行う ■H28～ 中学生ボランティア3名				新規	→	→	スポコム 角田丸森の中高校 生涯学習課

3 計画の進行管理（C）について

毎年度、数値目標に対する結果を一覧表（資料1）で確認することにより、計画の進捗状況を把握します。

4 計画の評価（C）・改善（A）について

基本目標ごとに作成した評価シート（資料2）を用い、毎年度『25個の施策』の評価を行い、施策ごとに課題を明確化し、今後の事業に反映させます。

（1）評価の概要及びスケジュール

- ① 事務局（生涯学習課）が事業の実施団体と情報を共有し、評価シートを作成。

なお、評価区分は、次のとおりとします。

- ◎：達成（評価年度の進捗状況が、すでに H30 の中間目標を達成している）
- ：計画どおり進捗（評価年度の進捗状況が、計画通り）
- △：進捗が不十分（評価年度の進捗状況が不十分）
- ×：未実施

※評価の単位は、施策の方向性ごととします。ただし、重点施策については、より詳しく評価できるように施策単位で行います。

- ↓
- ② 第2回スポーツ推進審議会へ評価シートを諮問。委員から意見聴取
- ↓
- ③ 第3回スポーツ推進審議会にて、意見を整理の上、教育委員会へ答申
- ↓
- ④ 答申を踏まえ、教育委員会が今後の事業に反映

<審議会での評価に関する年間スケジュール概要>

開催	内 容
第1回6月	・ 9つの数値目標の実績報告（資料1） ・ 今年度版のアクションプランを諮問、教育委員会へ答申
第2回7月	・ 評価シート（資料2）を諮問、意見聴取
第3回11月	・ 評価シートの継続審議、教育委員会へ答申 ・ 翌年度の取組みについて諮問、評価の結果を踏まえ答申

角田市スポーツ推進計画における『9つの数値目標』の進行管理表

3つの目標	9つの数値目標		計画当初	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30中間目標	H35目標		
目標1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	1	週1回以上スポーツを行う人(20歳以上)の割合	28%	⇒	⇒	⇒	⇒	31	35		
		内訳	20~50代(働く世代)	ほぼ毎日	5%	H30にアンケートを実施					
				週1回以上	23%						
			60代~(高齢者)	ほぼ毎日	15%						
			週1回以上	30%							
	2	参考 平均値以上の個数 体力総合点(市の平均点/全国平均点)	市内小5男	3 52/54	6 54/54	4 53/54	5 54/54	⇒			
			市内小5女	2 52/55	8 56/55	6 55/55	6 55/56				
			市内中2男	2 36/42	3 40/42	6 41/42	4 41/42				
			市内中2女	3 42/49	2 47/49	3 47/49	1 44/50				
	3	総合型地域スポーツクラブの会員数	400人 みんなの教室 322	462人 みんなの教室 348	397人 みんなの教室 298	437人 みんなの教室 325	⇒	600人 みんなの教室 410	800人 みんなの教室 500		
4		スポーツ少年団の団数と団員数	団員430 団数26	団員450 団数25	団員417 団数23	団員402 団数24	⇒	団員450 団数28	団員470 団数30		
目標2 地域に夢と活力をもたらすスポーツ交流の促進	5	人々が交流する大会開催・誘致の数(全国・プロ)	3試合	4	2	2	⇒	4	5~6		
		内訳	ねんりんピック(3日間)	なでしこL JFL 各2試合	なでしこL JFL 各1試合	なでしこL JFL 各1試合					
	6	阿武隈リバーサイドマラソン大会の参加数	2300人	2,631	2,720	2,935	⇒	2,400	2,500		
7	市内大会以上の規模の大会の本市での開催数	130試合	110	120	131	⇒	132	135			
目標3 誰もが快適に親しむことができるスポーツ環境の整備	8	公共スポーツ施設の年間延べ利用者数(学校施設を含まない)	210,000人	233,157	235,471	233,865	⇒	235,000	270,000		
		総合体育館	62,386	65,517	65,842	69,108					
		陸上競技場	36,078	38,083	34,178	16,874					
		屋内温水プール	57,616	70,691	76,167	82,053					
		テニスコート	15,178	17,923	18,330	20,990					
		野球場	13,202	10,608	10,805	9,116					
		ゲートボール場	282	387	392	269					
		芝生広場	10,984	3,289	8,562	11,482					
	多目的運動場	13,812	12,272	11,238	11,950						
スポーツ交流館	(12,931)	14,387	9,957	12,023							
9	阿武隈リバーサイドマラソン大会ボランティア数(体育協会以外の者)	50人	66	65	120(68)	⇒	60	70			

**角田市スポーツ推進計画
前期アクションプラン
(平成29年度版)**

平成29年6月発行

編集・発行

角田市教育委員会生涯学習課

〒981-1505 宮城県角田市角田字牛館10

TEL:0224-63-2221 FAX:0224-63-5633

e-mail: g y m@city.kakuda.lg.jp